

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院泌尿器科で、長期透析後、腎細胞癌の手術を受けた患者さんへ

和歌山県立医科大学人体病理学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

後天性嚢胞腎を背景に発生した腎細胞癌およびその前駆病変に関する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学人体病理学講座 准教授 小島 史好

3. 研究の目的

長期透析中の患者さんに発生する腎細胞癌とその前駆病変を解析し、腎細胞癌の発生の仕組みを解明し、新たな治療ターゲットを探索します。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2000年1月1日～2021年12月31日に、透析を受けておられ、腎細胞癌の手術を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、透析期間、治療歴、転帰と切除した腎臓の肉眼・組織像、病変の*KMT2C*, *TSC1*, *TSC2*, *VHL*, *ELOC*, *MTOR*, *RHEB* 遺伝子変異の一部に関する情報です。

(3) 方法

切除された腎細胞癌と背景腎の組織像を顕微鏡的に観察し、上記遺伝子の変異の有無を解析します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんにはご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

本研究は、日本学術振興会科学研究費および講座研究費によって実施します。

開示すべき利益相反関係にある企業はありません。

8. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学人体病理学講座 担当医師 小島 史好

TEL : 073-441-0635 FAX : 073-444-5777

E-mail : fumiyosh@wakayama-med.ac.jp